



## 2013年度グリーンアジア国際セミナー・総理工セミナー International Forum for Green Asia

日時：2013年11月29・30日 場所：九州大学筑紫キャンパス

九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター

古野 裕史

11月29日、30日の両日、筑紫キャンパスの総合研究棟(C-Cube) 筑紫ホールにおいて、グリーンアジア国際戦略プログラムの国際セミナーを、毎年秋に開催されている「総理工セミナー」(総合理工学府主催)との合同セミナーとして開催した。当プログラムコース生は博士後期課程において国際セミナーを企画・準備・運営する国際演習という科目が予定されており、本セミナーはこれを見据えての実施となった。今回は初めての試みということもあり、全体としてのテーマを絞らずに政治、経済、環境、科学技術などに関してグローバルな視点から広く学ぶための会とした。また英語版のProceedingsを発行した。

29日午後には中島英治総合理工学府長の挨拶と総合理工学府の紹介、原田明プログラムコーディネーターからの当プログラムの説明の後、企業の第一線で活躍されているお二方に講演いただいた。九州電力(株)の原田達朗先生には電力システムの改革、電力自由化、再生可能エネルギーなどの観点から、国内の電力エネルギーの現状と将来について、また宇部興産(株)の大田正芳先生にはスペインとタイを例に、総合化学メーカーとしてのUBEグループの海外進出の実際と成功の鍵などについて、それぞれお話しいただいた。

翌30日は午前中に環境をキーワードとしたセッションを行った。まず本セミナー唯一の学生講演者(博士後期課程に在学中)である京都大学大学院地球環境学舎の前奈緒子さんより、家電や車を例に消

費者の環境行動の評価法についての研究発表があった。続いて九州大学大学院経済学研究院の藤田敏之先生には、ゲーム理論と環境問題の多国間協定のシミュレーションなどについて講演いただいた。昼食休憩を挟み、午後からのセッションはグローバル化をキーワードとした。双日(株)顧問の田邊弘幸先生にはご自身の豊富な海外経験を基に、世界の変遷とグローバル化、その中での総合商社の役割などについて特別講演としてお話しいただいた。九州大学大学院比較社会文化研究院の施光恒先生には、現在のグローバル化について疑問を呈し、再評価する立場から講演いただいた。

最後に「政治経済とグローバリズム」をテーマにパネルディスカッションをおこなった。講演の5名の先生がパネリストとして登壇し、司会進行は谷本潤プログラム副コーディネーターが務めた。

講演のうち4件とパネルディスカッションは日本語で、講演の2件が英語で行われたが、本セミナーは一般にも案内されており、また当プログラムの海外コア連携大学より教員及び学生を招聘していたことから、日本語・英語の同時通訳付きで実施された。そのため日本語での講演、パネルディスカッションに対しても、海外からの参加者から活発な質問、意見が出されていた。

なお海外コア連携大学の教員は当プログラムの国際アドバイザーボードミーティング(12月1日)に、また同教員及び学生は2日におこな



**International Forum for Green Asia**  
**2013年度 グリーンアジア国際セミナー・総理工セミナー**

November 29 (Friday) and 30 (Saturday), 2013  
 C-Cube IF "Chikushi-Hall" in Chikushi Campus, Kyushu University

**November 29 (Friday)**

- 13:30 *Opening Remarks*  
 Jun TANIMOTO  
*Program Vice-Coordinator, Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University*
- 13:35 *Greetings from the Dean*  
 Hideharu NAKASHIMA  
*Dean of Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University*
- 13:40 *Introduction of Advanced Graduate Program in Global Strategy for Green Asia*  
 Akira HARATA  
*Program Coordinator, Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University*
- Break
- 14:30-15:30 *Keynote Address*  
**Utilization of Carbon Resource toward Future Electricity System Reform**  
 Tatsuro HARADA  
*Kyushu Electric Power Co. / Visiting Associate Professor, Kyushu University*
- 15:30-16:30 *Keynote Address*  
**Global Strategy of UBE Group**  
 Masayoshi OTA  
*Planning & Administration Dept. Chemicals & Plastics Company, UBE INDUSTRIES, LTD*
- 17:00 Banquet [C-Cube 3F]  
 Short Speeches by  
 Akira Harata (Kyushu University)  
 Megat Johari Megat Mohd Noor (Malaysia-Japan International Institute of Technology)  
 Masayoshi Ota (Ube Industries, Ltd.)  
 Toast by  
 Jun Tanimoto (Kyushu University)

**November 30 (Saturday)**

- 10:00-10:40 *Invited Lecture*  
**Development of a Method of Associatively Estimating Technology and Environmental Actions toward the Design of Green Society**  
 Naoko MAE  
*Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University*
- 10:40-11:40 *Keynote Address*  
**Environmental Issues and Game Theory**  
 Toshiyuki FUJITA  
*Faculty of Economics, Kyushu University*
- Lunch Meeting [C-Cube 2F, E-meeting room]
- 13:00-14:00 *Special Lecture*  
**Japanese Global Trading Companies in a Changing World**  
 Hiroyuki TANABE  
*Corporate Adviser, Sojitz Corporation / Visiting Professor, Tsukuba University*
- 14:00-15:00 *Keynote Address*  
**Doubling Globalization: A Re-evaluation from the Perspective of Nation-building**  
 Teruhisa SE  
*Faculty of Social and Cultural Studies, Kyushu University*
- Break
- 15:20 *Panel Discussion*  
**Globalism for Politics and Economics, and Green Asia**  
 Panelists:  
 Tatsuro Harada (Kyushu Electric Power Co.)  
 Masayoshi Ota (Ube Industries, Ltd.)  
 Toshiyuki Fujita (Kyushu University)  
 Hiroyuki Tanabe (Sojitz Corporation)  
 Teruhisa Se (Kyushu University)
- MC:  
 Jun Tanimoto (Kyushu University)
- 17:10 *Closing Remarks*  
 Akira HARATA  
*Program Coordinator, Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University*  
 Taking Photographs

Data of the participants,  
 Number: 132 (including staffs)  
 November 29 (Friday): 110 and 30 (Saturday): 99  
 Nationality or university:  
 Japan, UK, Malaysia, Indonesia, Egypt, Thailand, Bangladesh, China, Singapore, India, Taiwan

われた第10回新炭素資源学国際シンポジウム(「新炭素資源学」研究拠点主催、グリーンアジア国際リーダー研究センター他共催、当プログラムコース生も参加)にも参加してもらった。

本セミナーは国内外から132名の参加者があり、盛会のうちに終わることができた。一方で会の準備、運営などで、不慣れな面も多く課題も見つかった。これらを改善して来年度以降、より意味のあるセミナーとなるようにしたい。

